

ス
ラ
イ
ド
1

生命保険の仕組み

預貯金との対比

2006年12月2日(土)
生命保険文化センター

ス
ラ
イ
ド
2

貯蓄と保障(表)

	主な目的	典型的な手段
貯蓄	目標額を貯める (教育資金、住宅購入 資金など)	預貯金 (定期預金、郵便貯 金など)
保障	経済的リスクに備える (入院、稼ぎ手の死亡、 事故など)	保険 (健康保険、生命保 険、損害保険など)

ス
ラ
イ
ド
3

保険の仕組み－問題

◆問題(仮定)

- ・健康な40歳男性が1,000人いる。
- ・1年間に死亡した人の遺族が、生活資金として1年後に1,000万円を確保できる仕組みを考える
- ・1年間に2名が死亡すると仮定する。
- ・預貯金で備えるには？
- ・保険で備えるには？

セミナー「生命保険の仕組みー預貯金との対比ー」

2006年12月2日(土)(財)生命保険文化センター

ス
ラ
イ
ド
4

回答: 預貯金の仕組みで備える

- ◆それぞれが万が一に備えて、1年間に1,000万円を貯める。
- ◆死亡した場合には貯めた1,000万円を遺族の生活資金とする。

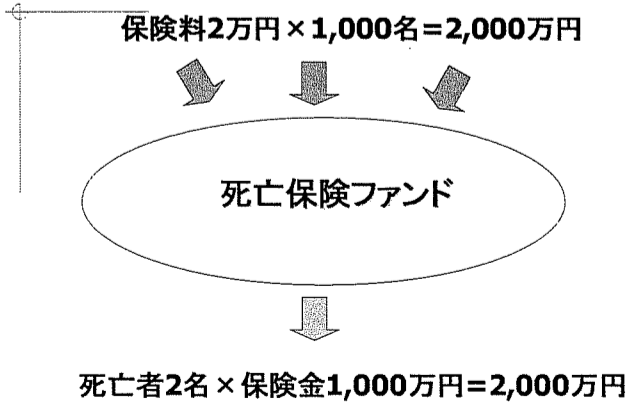
ス
ラ
イ
ド
5

回答: 保険の仕組みで備える

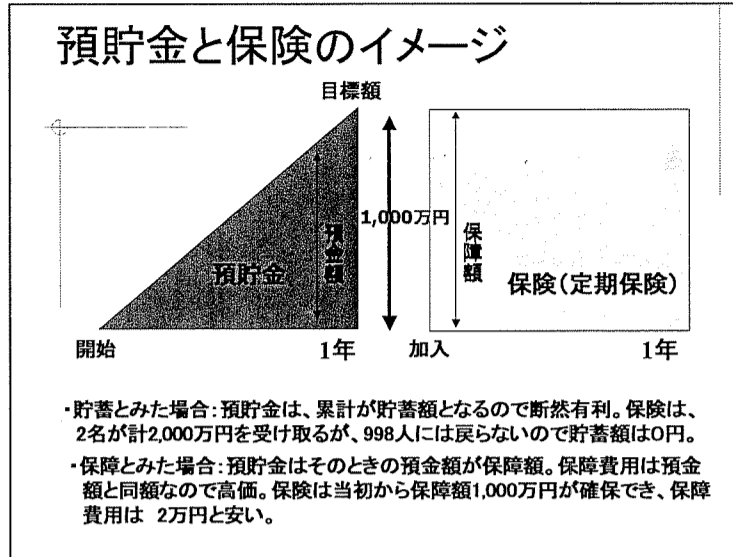
- ◆保険
 - ・加入者1,000人が2万円を保険料としてファンドに支払う。(計2,000万円)
 - ・1年後に、死亡した2名の遺族にそれぞれ1,000万円を支払う。(計2,000万円)
- (全員が少額の出費で済む。)

ス
ラ
イ
ド
6

保険のイメージ



ス
ラ
イ
ド
7



ス
ラ
イ
ド
8

保険の仕組み—原理

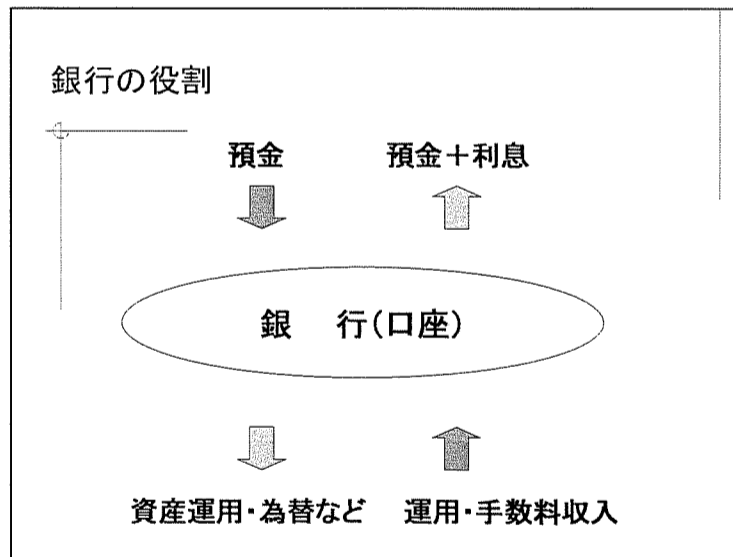
$\text{保険料} \times \text{加入者数} = \text{事故件数} \times \text{保険金}$

変形すれば

$\text{保険料} = \frac{\text{事故件数}}{\text{加入者数}} (\text{発生確率}) \times \text{保険金}$

- ・なぜ年齢とともに保険料が高くなるか。
- ・なぜ告知や医師の診査が必要か。
- ・なぜ目的に応じて保険の種類が異なるのか。

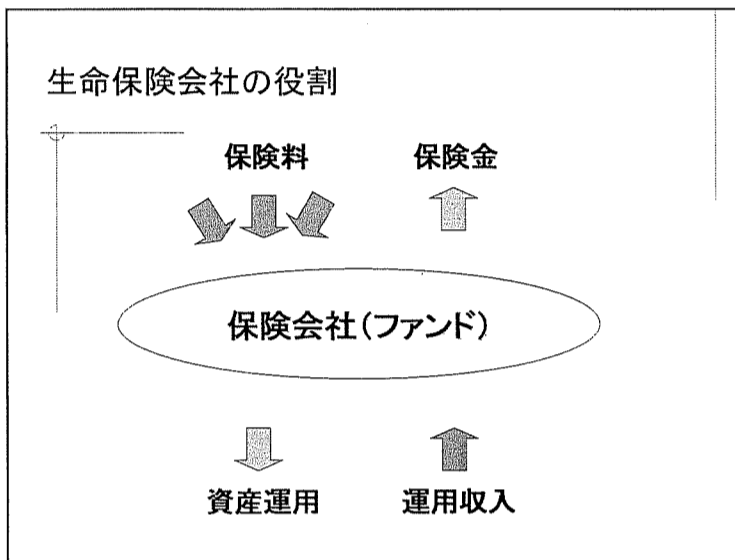
ス
ラ
イ
ド
9



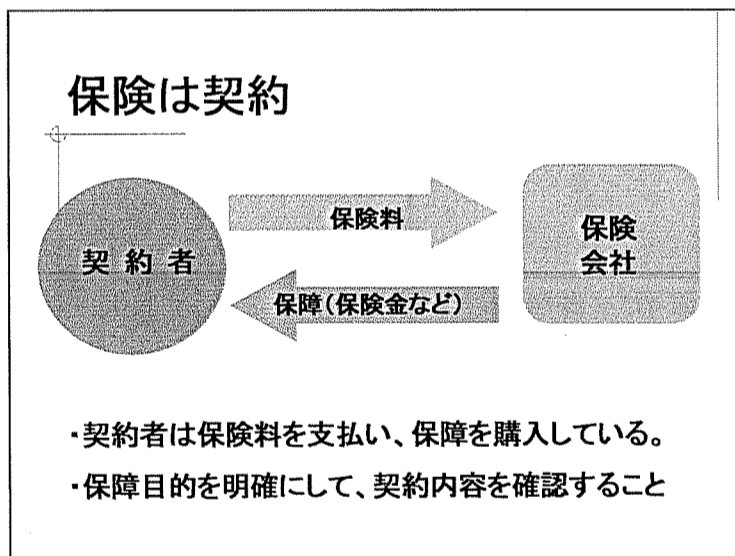
セミナー「生命保険の仕組みー預貯金との対比ー」

2006年12月2日(土)(財)生命保険文化センター

ス
ラ
イ
ド
10



ス
ラ
イ
ド
11



ス
ラ
イ
ド
12

